

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月25日(18:00~20:30)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	10人	0人	0人	13人

前回の改善計画	<p>・文書での申し送りを基本とし、ご利用者様の状況がわかるように記録を作成する。 ・ご本人、ご家族からお伺いしたご要望などはミーティングノートへ記入し記録をして残し、全体へ周知できるようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>アセスメントシートやミーティングノート、朝のミーティングを活用してご利用者の状況を確認、周知している。初期支援では特に細かく記録や申し送りをするように心がけている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	8	0	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	11	1	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	3	4	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>職員がご利用者の状況を把握し、ミーティングノートで情報を共有している。残存能力の活用。ご利用者が楽しめるようなレクを行っている。サービス利用で行っていることをご家族に伝えている。ご利用者同士の円滑なコミュニケーションが取れるような雰囲気になれるような声掛けを行っている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>出勤時間が少ないのでかかわり方が浅い。ご利用者の自宅にあまり訪問に行っていない。すべてのご利用者のご家族から聞き取りが出来ておらず対応が遅れる。介護度の高いご利用者は変化についていけず、対応が遅れることがある。ミーティングノートの確認が遅れてる、情報の確認不足。ご利用者の情報が把握できていないため、本人の必要としている支援ができていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・文書での申し送りを基本とし、ご利用者様の状況がわかるように記録を作成する。 ・ご本人、ご家族からお伺いしたご要望などはミーティングノートへ記入し記録をして残し、全体へ周知できるようにする。 ・業務開始前に申し送りを確認する習慣をつける。新規のご利用者には個々ではなく、グループで情報を確認して話し合いのできる時間を設ける。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年11月30日(18:00~19:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	3人	5人	4人	13人

前回の改善計画

- ・担当職員を設けることで計画把握や細かいケアを行う。
- ・ご利用者様の状況に合わせたケアを実践するため、計画に変更がない場合においても6カ月の期間を設け、職員会議での点検・確認を行う。担当職員は計画変更の必要性がある場合は、随時申し出ることとする

前回の改善計画に対する取組み結果

担当利用者を決めても、直接細かいケアにはつながりづらい。時間がなく対応できない意見もある。計画把握のためにほかのやり方を試みる必要がある。コロナ禍で全体での職員会議が開催できておらず、全体での計画点検・確認ができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	1	9	2	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	2	8	2	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	1	10	2	13
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	5	2	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
居宅サービス計画の作成担当者会議を行い検討したり、朝のミーティングや申し送り帳で周知したりと心掛けている。実践したことはミーティングで発言するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
小規模多機能計画書が更新できていないため、ご本人の状況と合わない計画書になっていることがある。職員の人数に余裕がなく、個別に対応する時間が取れないので目標にたどりつかない。ご利用者の積極性があまり見られないため目標を把握できない。担当職員を持っていないためできない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・利用者担当と数人のグループで小規模多機能計画の点検・確認を行える機会を設ける。
・職員の人数に余裕がないことに対して、勤務体系の改善、業務改善、業務環境の改善を検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 8 日 (18:00~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	9 人	1 人	2 人	3 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">ご利用者様、ご家族様のご要望などをお伺いし、全職員で把握してご利用者様に最適なケアをする。情報をアセスメントシートへ反映していき、情報周知をする。ご利用者様の状況や環境に合わせ、羞恥心に配慮したケアを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">ご家族と接する時間が作れるように、まずは正職員から取り組み始めたところ。継続的な取り組みが必要。最低限のアセスメントしかできておらず、情報が不足している。ご利用者の立場に立って、本当の意味での羞恥心に配慮したケアができていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	2	5	6	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	6	1	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	9	3	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6	1	2	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	9	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	特に食事の面ではご利用者の現状に合わせた食事形態を考え取り組んでいる。朝のミーティングで共有した情報をもとにご利用者と接する際、体調や気持ちを理解したうえで支援している。定期的にあセスメントを行い、適切な状況を把握できるように心掛けている。ご本人が思っているだろうこと、持病のこと等を理解するようにしている。状況や状態に合わせた介護をしている。ご本人のやり方を尊重することで安心感が得られる。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	ご利用者のこれまでの生活環境がわからない。ご利用者のこれまでの生活状況を知ることはできるが、その情報を活かせていない。小さな変化を見落とししている。ご利用者によって身体状況、認知機能、趣味嗜好が異なるため、全体でアクティビティを行うことが難しい。ご利用者と直接関われる時間がない。ご利用者の状況把握に時間がかかり、後手の対応になってしまう。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">ご利用者様、ご家族様のご要望などをお伺いし、全職員で把握してご利用者様に最適なケアをする。情報をアセスメントシートへ反映していき、情報周知をする。ご利用者様の状況や環境に合わせ、羞恥心に配慮したケアを行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和4年12月8日(19:00~19:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	2人	4人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ご家族様やご本人様に話を伺い、アセスメントシートなどへ追記していき情報を共有する。 ご家族様や地域の方も出入りしやすい施設づくりを目指す。 送迎、訪問業務は特定の職員に限らず全職員で行う事が関係作りには理想である。ご家族様と関わる機会を増やせる体制作りを検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントシートへ追記していいものと思っていなかったため、あまり浸透していなかった。 コロナ禍で施設への出入りを制限しているため、なかなか出入りしていただく機会はできないが玄関先での面会や電話で会話をしている。 正社員から訪問業務や送迎業務などが行えるように取り組み始めたところである。継続していく必要がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	4	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	3	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	5	5	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	6	6	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>送迎時、ご利用者様の体調や様子を伺う、報告している。ご希望があれば施設長を通して電話連絡をしている。コロナ対策で玄関先での面会していただいている。ミーティング等の声を共有している。ご利用者間のトラブルがあった際に席のローテーションを行っている。受診結果を家族へ伝えている。ご本人やご家族からの聞き取りにより、情報を蓄積できるように心掛けている。ミーティングで情報を共有し、把握できるようにしている。送迎、訪問業務に偏りがないように調整し、ご自宅での状況を正社員全体で把握できるようにしている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>コロナのため、地域との関わりが出来ていない。家に帰ってからのことなど積極的に聞いていないため、家に帰ってからの把握ができていない。ご利用者のご家族に関わる機軸が少ない。他の地域の方の民生委員の方々は施設まで来られていないので民生員の把握はできていない。地域の民生委員を知らない。コロナ禍で外部との交流がない。どの職員もまんべんなく送迎や訪問対応ができていない。職員の人数に余裕がない。記録を確認するが、記録が残っておらず対応した職員へ直接確認している。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ご家族様やご本人様に話を伺い、アセスメントシートなどへ追記していき情報を共有する。 ご家族様や地域の方も出入りしやすい施設づくりを目指す(コロナ対策必要)。 送迎、訪問業務は特定の職員に限らず全職員で行う事が関係作りには理想である。ご家族様と関わる機会を増やせる体制作りを検討する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月13日(18:50~19:40)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	4人	3人	13人

前回の改善計画
・ご利用者と地域の関係が築けるように支援する。
・状態がわかるように介護記録を記入して、統一されたケアが継続されるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
・コロナ禍でできることが限られている。改善できるところは多い。
・よく書かれた記録も残っているが、読み返した際に介護記録が不十分な時が多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	2	5	6	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	5	1	3	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	8	0	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	6	1	2	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご利用者の体調の変化などに対応できるように指示を行っている。日々の記録やご本人の変化など、ミーティング等で共有しケアに当たっている。ご本人のニーズに合わせて柔軟な対応ができている。ご家族からの要望をケアマネに報告し適切にサービス提供されている。ご利用者の様子で普段と違うことがあればリーダーへ報告している。区長様を通して回覧板で施設広報を配布していただいている。送迎や訪問時間に遅れない。ご利用者、ご家族の状況やご要望に応じてサービス提供されている。ご利用者の経過を記録できている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域資源を上手に活用できていない。コロナ禍でニーズ対応できないこともある。コロナ禍により地域とのかかわりが少ない。地域にどのような活動があるか知ろうとしていない。地域資源・社会資源とは何か?

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・ご利用者と地域の関係が築けるように支援する。
・介護記録の勉強会を設けて適切な介護記録を残せるようにする。
・社会資源・地域資源の勉強会を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:00~18:40)

6. 連携・協働

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	3人	4人	4人	13人

前回の改善計画
・地域とのつながりの発展を目指し『陽光園だより』が継続配布できるように定期発行する。そのうち年2回程度は地域のご協力を得て、回覧板を利用させて頂く。 ・感染対策に配慮したご利用者様主体の行事の他に、健康講座、介護講座など地域のための講座を展開していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・陽光園だよりは年4回発行し、4回とも回覧板に載せさせて頂いている。ご利用者主体での行事の開催はできているが、地域へ発信する健康講座や、介護講座は開催できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	2	2	8	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	0	1	11	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	0	2	9	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	1	11	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	他の医療機関へはご利用者の体調に合わせて送迎している。災害時に備え定期的に訓練を行っている。地域や他の事業所とのつながりは確保されている。担当者会議の開催している。陽光園で行った行事を『陽光園だより』にまとめて回覧板で回して頂いている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	施設内の業務を行っているため、なかなか職場を離れられないのが現状である。また、だれしも訪問できる環境がない。訪れは人にプレゼンできる人が常時いない。施設の宣伝不足。コロナ禍のため行事が中止されているため訪れていない。コロナ禍のため会議が開催できない。運営推進会議は書面開催している。他職種と連携を取ってご利用者の支援ができていない。すべての交流が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・健康講座、介護講座など地域のための講座を展開していくために、まず介護スタッフが勉強をして準備していく。 ・散歩などで積極的に外部へ出て、地域の方と気軽な交流の機会を作る。 ・長期的にみて、介護職員の担当職員の担当者会議の参加を計画していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月16日(18:40~19:20)

7. 運営

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	3人	4人	3人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者様に無理のない範囲でゴミ拾いなどのボランティア活動を行う。 地域住民への取組として災害時の備蓄の整備とAEDを設置している事業所である事を地域住民へ周知し、職員へAED講習を行う。 ひまわり広場を活用し地域コミュニティの促進を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> 散歩に出れば実行できるが、計画が意識されていないのか実行できていない。 備蓄管理やその周知、AED講習はできていない。 ひまわり広場をコミュニティとして活用できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	3	4	3	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	3	2	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	2	5	6	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	0	3	9	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>施設に係ることなどは話し合えていると思う。介護に必要な意見をご利用者に反映している。地域の方から苦情は聞いたことがない。ご利用者、ご家族から頂いた意見を活かせるように取り組んでいる。回覧板等の活用をさせて頂いている。ご利用者からの不満を朝の申し送りの時に伝え、意見を聞いている。ご利用者のご家族からの意見を職員で共有している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>地域の方からの苦情は聞いたことがない、苦情を集めているのかわからない。地域に必要とされる拠点となる取り組みが行われていない。AEDを設置している地域住民に周知できていない。職員へのAED講習が出来ていない。ご利用者とボランティア活動できていない。コロナ禍が影響して外部との活動を自粛している。コロナ禍のため地域の方々のコミュニティが難しい。ちいきの方からの意見を聞くことが出来ていない。地域との共同した取り組みが出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 散歩に出たときはゴミ拾いなどのボランティア活動を行えるように、呼びかけを行っていく。 備蓄を整備して、地域住民へ周知する。地域を交えてAEDの講習会をする。 ひまわり広場を活用し地域コミュニティの促進を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月20日(18:00~19:15)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	3人	6人	13人

前回の改善計画

- ・ヒヤリハット作成や検討は開催を継続し、再発防止に努める。
- ・オンライン研修などにも参加しやすい環境を作る。
- ・研修への参加を促し各職員のスキルアップに繋げる。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・ヒヤリハット件数が少ない。『書きたくない』という意見も上がってる。ヒヤリハットの本来の役割を正しく理解しておらず責任の追及という意識が働いているようである。
- ・オンライン研修ができる環境を整えているが、人員不足により積極的に外部研修に参加できていない。内部研修は毎月開催できている。
- ・上記理由から研修参加を積極的に斡旋できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	3	3	6	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	1	7	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	0	11	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	2	4	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ヒヤリハットやミーティングをしてリスクマネジメントに取り組んでいる。オンライン研修に参加できるように準備している。参加回数は少ないが研修へ参加している。資格所得のため、実務者研修に参加した。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ禍のため地域連絡会や研修に参加できていない。ヒヤリハットが発生しても作成しようという意識付けが低い。作成する時間が取れない。ヒヤリハットの件数が少ない。スキルアップにつながるような研修に積極的に参加できていない。地域連絡会を知らない。オンライン研修に参加していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・ヒヤリハットに対する意識を正しく持つて頂くために、正職員が中心となり共通認識をもってヒヤリハットを上げていく。
- ・研修に参加できる体制を整備して参加を促し各職員のスキルアップに繋げる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年12月25日(18:00~19:15)

9. 人権・プライバシー

メンバー 今野、普天間、阿藤、稲川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	7人	1人	0人	13人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束、虐待は行われていない。発生させないことを継続する。勉強会を設ける。・家庭的な雰囲気は壊すことなく、ご利用者、ご家族と職員の関係性に配慮した接し方をする。・個人情報保護の重要性を、十分に理解できるよう職員同士で注意し合い情報漏洩防止を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・はっきりと目に見える身体拘束・虐待は行われていないが、親しみのある言葉がけで利用者が嫌な気持ちを感じてしまうことがあると思われる。・各職員、個人情報の取り扱いの重要性について理解されている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4	0	0	13
②	虐待は行われていない	7	6	0	0	13
③	プライバシーが守られている	7	6	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	2	0	8	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	1	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	個人情報など話さない、外へ持ち出さない。できるかぎり感情的にならず利用者とは接する。身体拘束は行っていない。虐待をしていません。後見人制度は対象者がいないため活用していない。事業所、職員が全員良くできている。職員の意識 研修・知識・介護技術 施設組織・体制、連携 利用者の理解 家族の理解・協力により介護を継続している。転倒リスクの高いご利用者に対して夜間のセンサーマットや見守りカメラを使用することに同意を得ている。家族同意のもとに諸条件による介護見守りをする。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	自分の気付かないところで発生しているかもしれないという意識が少ないので自分の発言や行動が拘束・虐待につながっていないか改めて振り返って考えることが出来ていない。勉強会に出席できていない。時々ご利用者に対して言葉の虐待をしているかもしれない。親しみのある雰囲気の中でご利用者を励ますつもりでかけた言葉がきつく受け止められてしまっているかもしれない。成年後見制度を利用している人がいない。介護制度に対する知識不足。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束、虐待が発生しないように、自分の行動の振り返りをする。・家庭的な雰囲気は壊すことなく、ご利用者、ご家族と職員の関係性に配慮した接し方をする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 野村医院	代表者	理事長 野村 和至	法人・ 事業所 の特徴	理念、命の輝きを利用者、地域社会、職員と共有する施設。高齢者を人生の先輩として敬意をもって接し、利用者の権利と意思を尊重し、安全・安心な支援。「善循環」法則を基盤に互いに協力し、問題解決を行い、組織として誠意ある支援。地域に開かれた施設。バイスティックの7原則に沿った支援。
事業所名	小規模多機能型居宅介護施設 のむら陽光園	管理者	施設長 野村 繁利		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	8人	0人	0人	5人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	改善計画を意識できるように周知し、職員一人一人のスキルアップを目指す。	一部改善が出ている項目もあるが、厳しい目で見るとまだまだ改善計画が浸透していない。	一部の改善できていた項目については継続する。全体を通して不足があった項目については、新たな取り組みを検討する。	改善計画を意識できるように周知し、職員一人一人のスキルアップを目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	ホール、和室、事務所を中心に整理整頓し、ご利用者、ご家族、職員にとっても居心地のよい環境を作る。	意識的に片づけを行った場合は、整理整頓された環境になるが、それが継続できない現状がある。	乱雑に置かれていると事故や紛失などにつながる可能性があるため、もう少し整理整頓できると良い。	ホール、和室、事務所を中心に整理整頓し、ご利用者様、ご家族様、職員にとっても居心地のよい環境を作る。
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ禍で外部とのかかわりが制限されているが、陽光園だよりの定期発行は続けていく。	陽光園だよりを定期発行し、回覧板を活用させて頂いている。施設の外に出ることに消極的になっている。	行事の記事だけでなく、日常の様子や体操などの記事があると興味を持って頂けると思う。散歩など少人数でも外に出れると良い。	陽光園だよりの継続と、散歩などの外出を積極的に取り入れていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域行事に参加が出来るようにスタッフの人数調整や行事の把握を行い、参加できるご利用者の偏りを少なくする。	地域行事に限らず、社会資源の活用が出来ている。地域行事が開催されたとしても十分にスタッフを配置できる体制ではない。	担当職員を活かし、個別対応や外出支援を重視した取り組みができることより良いケアができると思う。	担当職員による、個別対応や外出支援の強化を数年単位で計画して改善していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所の活動内容の雰囲気が伝わりやすいようにスライドショーに活動内容の詳細を添える取り組みをする。	運営推進会議は書面開催のみとなっている。	再開した際には、わかりやすい活動内容で報告してほしい。	短時間での運営推進会議の開催を視野に入れて、会議の再開を検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	消火器が常に使用できる状態にあるように設置場所を保持する。年間防災計画を立て実施する。備蓄品が常に使えるように防災訓練等で定期確認を行う。	防災計画を立てて、防災訓練は所定回数行われている。備蓄品は防災訓練の時に確認できていない。一部のスタッフしか知らないなどの現状がある。	ご利用者が召し上がることを前提に非常食を用意しないといけない。災害時に必要な物品はローテーションをして常に使えるようにしておく。	BCP作成。具体的な備蓄品を管理、周知できるようにする。

